

様

要 望 書

大湊地区総監（仮称）の継続配置 及び
大湊地区隊（仮称）の体制維持・強化について

青 森 県 む つ 市
青 森 県 む つ 市 議 会

大湊地区総監（仮称）の継続配置及び大湊地区隊（仮称）の体制維持・強化について

平素より市政各般にわたり御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年7月、大湊地方総監の廃止及び大湊地方隊の横須賀地方隊への統合が検討されているとの報道があり、むつ市民の間に深刻な動揺と不安が広がりました。

むつ市と自衛隊のつながりは、明治35年の旧海軍大湊水雷団の開庁にさかのぼり、以来一世紀を超える歴史を共に歩んでまいりました。

現在、本市には、海上自衛隊大湊地方隊及び第25航空隊、航空自衛隊北部航空方面隊第42警戒隊が配置されておりますが、各部隊におかれましては国防に精励されるとともに、自衛隊と市民においては長い年月をかけて相互の理解と協調への努力を重ね、特に歴代の総監が大湊地方隊の代表として様々な場面において市民の方と深く交流を重ねていただいたおかげで、共存共栄の理念のもと信頼関係を構築してきたところであります。

我々は、市民の皆さまが自衛隊の存在とその役割について十分な理解を持ち、積極的な支援・協力をする姿勢を示し、また、「自衛隊のまち」として市民一人ひとりが誇りをもっている地域は、むつ市の他にはないものと自負しております。

そのような地域の想いにお応えしていただき、昨年12月には、大湊地方隊は、横須賀地方隊と統合することとなるものの、大湊地区隊（仮称）として新編され、大湊地区総監（仮称）として海将の配置、定員規模の維持、護衛艦1隻増とした、令和6年度防衛省予算案を閣議決定していただいたことに改めて感謝申し上げます。

今後も、我々は変わらず、地域を挙げて自衛隊を支え、隊員の皆さまに寄り添ってまいり所存でございますので、令和7年度以降においても、大湊地区総監（仮称）としての海将の引き続きの配置、大湊地区隊（仮称）の体制維持、我が国の「北の要衝」として、大湊地区隊（仮称）の防衛体制のさらなる強化を御検討いただきますようお願いいたします。

令和6年1月25日

むつ市長

山本知也

むつ市議会議長

富岡幸夫